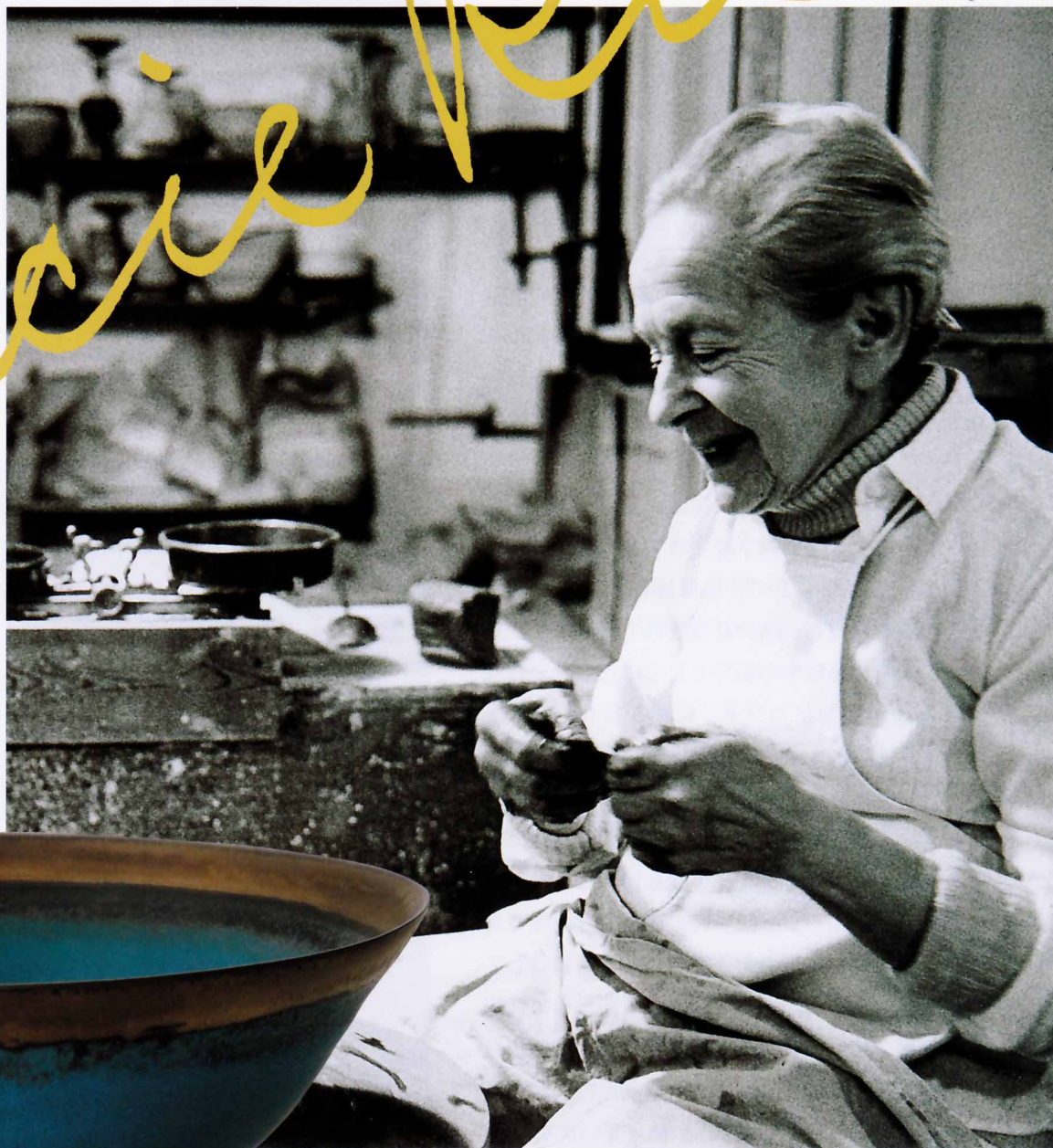


A Retrospective

Lucie Rie



Lucie Rie Archive, University of East Anglia, Norwich/Photo: Pete Huggins



青袖鉢
1978年頃 東京国立近代美術館蔵
Estate of the artist 撮影：上野尚宏

イギリス陶芸界の至宝

ルーシー・リー展

ウィーン、ロンドン、都市に生きた陶芸家

2011年2月26日[土]～4月17日[日]

【会期中無休】 但し、この期間は常設展示の「萬古の名陶」は休みとなります

関連イベント：3月21日[月・祝] 14時～ 「ルーシー・リーの陶芸」 金子賢治(茨城県陶芸美術館館長)

開館時間：9時30分～17時30分(入館は17時まで)

入館料：一般1,000円(4枚セット券3,000円) / 大学生800円 / 高校生500円 / 中学生以下無料

○主催：財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム、日本経済新聞社 ○企画：東京国立近代美術館

○後援：ブリティッシュ・カウンシル、中日新聞社、NHK津放送局、三重テレビ放送、伊勢新聞社、

シー・ティー・ワイ、ケーブルネット鈴鹿 ○協力：日本航空 ○助成：大和日英基金

《展覧会公式ホームページ》 <http://www.lucie-rie.jp>

財団法人岡田文化財団



paramitamuseum

〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6 Tel.059-391-1088 Fax.059-391-1077

<http://www.paramitamuseum.com> E-mail=office@paramitamuseum.com

イギリス陶芸界の至宝

ルーシー・リー展

ウィーン、ロンドン、都市に生きた陶芸家

「窯を開けるときはいつも驚きの連続」。この言葉に象徴されるように、93歳でこの世を去ったルーシー・リー(1902-95)の生涯は、つねに瑞々しい驚きと発見に満ちた陶芸制作に捧げられたものでした。

ウィーンの裕福なユダヤ人家庭に生まれたルーシー・リーは、工業美術学校でろくろの面白さに魅了され、ほどなくその作品は国際的な展覧会で数々の賞を受賞し、高い評価を得ていきます。しかし、迫りくる戦争の足音とともに亡命を余儀なくされ、1938年にロンドンに居を移すと、以後およそ半世紀にわたり同地で制作を続けました。バーナード・リーチやウィリアム・ステート＝マリーといった英国初期のスタジオ・ポタリーの作家たちが作り上げていた、大陸とは異なる陶芸環境のなかで、ルーシーは当時の先鋭的な建築やデザインの思潮とも響き合う独自の様式を確立していきます。ろくろから生み出されるかたちに色彩と装飾が一体となり、静かでありながら強い存在感をもつその作品は、ルーシーが制作のなかで見いだした発見と喜びを鮮やかに伝えています。没後初の回顧展となる本展では、20世紀を代表するルーシー・リーの創作の軌跡を国内外のコレクション約180点でたどります。



白釉線文円筒花瓶
1978年頃 パラミタミュージアム蔵
Estate of the artist 撮影：上野剛宏



ブラックファースト・セット
1950年代 クラフツ・スタディー・センター蔵
Estate of the artist



ピンク線文鉢
1980年頃 個人蔵
Estate of the artist 撮影：上野剛宏



スパイラル文花瓶
1970年代 クラフツ・スタディー・センター蔵
Estate of the artist



花瓶
1947年頃 個人蔵
Estate of the artist Photo: Alan Tabor



青線文鉢
1980年頃 個人蔵
Estate of the artist Photo: Alan Tabor

次回展覧会予告 (同時開催)

2011年4月23日(土)~5月29日(日) [会期中無休]
但し、この期間は常設展示の「萬古の名陶」は休みとなります

「江里康慧・江里佐代子展 仏像と截金」

仏像の原点に立ち還ることを課題とした江里康慧の仏像彫刻作品や、伝統工芸「截金」を現代工芸に蘇らせた人間国宝である江里佐代子の香盒、衝立などを一堂に展示いたします。

「ジュディ・オング情玉 木版画の世界展」

歌手・女優として世界を舞台に活躍するジュディ・オングが25歳頃に出会ったのが木版画。本展では、初期から日展に出品した最新作まで、日展特選作品を含む傑作を一挙に公開いたします。



交通機関

- お車をご利用の場合＝東名阪四日市ICで降りて国道477号(湯の山街道)を湯の山方面へ約6.5km。無料駐車場あり(普通車100台、大型バス駐車可)
- 電車をご利用の場合＝近鉄「四日市駅」下車、近鉄湯の山線に乗り換え約25分「大羽根園駅」下車、西へ300m。全館バリアフリー、車椅子常備



paramitamuseum 財団法人岡田文化財団

〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6 Tel.059-391-1088 Fax.059-391-1077
http://www.paramitamuseum.com E-mail=office@paramitamuseum.com